

上智大学イベロアメリカ研究所

2010年度活動報告

(2010年4月~2011年3月)

No. 18 (2011年5月)

§ 研究会

♦研究所共同研究

「グローバル化時代のラテンアメリカ地域研究と教育」

研究代表者: Mauro Neves

共同研究者: Nina HASEGAWA、幡谷則子、岸川毅、子安昭子、三田千代子、大越翼、田村梨花、

谷洋之、Helena TOIDA、Ana Elisa YAMAGUCHI、吉川恵美子

海外出張: Ana Elisa YAMAGUCHI (リスボン、ロンドン、8月6日~22日)

吉川恵美子(メキシコ、8月28日~9月8日)

◆ランチタイム・フリートーク

第 26 回 4月 28日 マウロ・ネーヴェス「ブラジル映画「復活」15 周年 その多様化

をふりかえる 」

第 27 回 5月 26日 三田千代子「変わるブラジルの人種概念」

第 28 回 6月 17日 千代勇一「違法作物代替開発に参加する農民の生活とその変化

コロンビア共和国ボリバル県南部の事例」

第 29 回 7月 21日 舛方周一郎「ブラジルの環境外交と国内政策 気候変動を巡る政

策決定過程 」

第 30 回 10 月 13 日 水野一「イベロアメリカ研究所 50 年の歴史 1」

第 31 回 11 月 11 日 小林一宏「イベロアメリカ研究所 50 年の歴史 2」

第 32 回 1月 26 日 小池洋一「アジア新興国とラテンアメリカ」

§ ラテンアメリカ事情講座(ソフィア・コミュニティ・カレッジにて開講)

第33回「新興国ブラジルの変革 ルーラ政権8年間の軌跡 」

2010年10月7日~2010年11月25日(毎木曜日、全8回)、コーディネーター:子安昭子

受講者数:11名

総論・政治 堀坂浩太郎 (上智大学)

国際金融 長谷川永遠子(株)大和総研)

外交・対外関係 子安昭子(上智大学)

ルーラ大統領と選挙動向 近田亮平(日本貿易振興機構

アジア経済研究所)

ブラジル映画の多様性 Mauro Neves (上智大学)

安全保障・国際関係 浦部浩之(獨協大学)

ブラジル社会の多様性の承認 三田千代子(上智大学)

経済開発 小池洋一(立命館大学)

§ 講演会

◆ 4 月 15 日 「ブラジリア遷都 50 周年、その建築と社会 首都移転の意義をふりかえる 」

南條洋雄(建築家)、奥田若菜(神田外語大学講師)

◆ 5月 27日 La armadura mesoamericana: una consideración sobre su desarrollo e implicaciones (「メソアメリカの武器を考える」)

Alfonso GARDUÑO ARZAVE (メキシコ国立自治大学美学研究所博士研究員)

◆ 10月 28日" "Recomposición de territorios en contextos de guerra: Reflexiones desde el caso colombiano" (「武力紛争下での地域再構成 コロンビアの事例からの考察」)

Flor Edilma Osorio Pérez (ハベリアーナ大学、環境問題・農業開発学部教授)

◆ 11 月 25 日 "Las reuniones de noche de los indígenas yucuna de la Amazonía colombiana"

(「『夜』の人類学 コロンビア・アマゾンに暮らすユクナ先住民の会合を読み解く」)

Laurent FONTAINE(フランス国立科学研究センター研究員)

♦ 11 月 29 日 "Combate à pobreza e renda básica no Brasil"

(「ブラジルの貧困削減とベーシック・インカム」)

山森亮(同志社大学経済学部准教授)

Marcus Vinícius Brancaglione dos Santos (ルイス・カルロス・メレジェ第三セクター経営研究所講師)
Bruna Augusto Pereira (ヘシビタス市民活性化研究所設立代表)

司会:三田千代子(上智大学)

通訳: Helena TOIDA (上智大学)

◆1月13日 "Venustiano Carranza y la Revolución Mexicana" (カランサとメキシコ革命)

Luis BARRÓN(メキシコ・経済研究教育センター(CIDE)教授)

& 公開シンポジウム

◆1月15日「メキシコ革命の100年:歴史的総括と現代的意義」

プログラム:

- □開会の辞 マウロ・ネーヴェス
- □基調講演 「メキシコ革命 過去の視点・現代の視点 」/ルイス・バロン(メキシコ・経済研究 教育センター教授)
- 口「革命党体制の制度化に関する考察」/岸川毅(上智大学)
- 口「革命後の国民経済建設構想に関する一考察」/谷洋之(上智大学)
- 口「民主主義思想の継承者と 20 世紀末の民主化」/ 箕輪茂(上智大学)

司会 堀坂浩太郎(上智大学)

§ 公開ワークショップ

◆1月22日「来るべき『ブラジル研究』にむけて 政治経済の変化がもたらすもの 」

(共催:地域研究コンソーシアム)

パネリスト:

近田亮平(日本貿易振興機構アジア経済研究所)

Andrea Lopes (ブラジル、サンパウロ大学)

舛方周一郎(上智大学大学院)

中牧弘允(国立民族学博物館)

奥田若菜(神田外語大学)

高橋慶介(一橋大学大学院)

§ 出版物

- ◆ 『2009 年度活動報告』No. 17
- ♦ Boletín Informativo, No. LV
- ◆ 井堂彰人 著『伝統養蜂(meliponicultura)と近代養蜂(apicultura)のはざまで メキシコ合衆国カン ペチェ州ラ・モンターニャ地域における養蜂文化 』 (ラテンアメリカ研究 ILA No.35) (ISBN: 978-4-904704-04-2)

はじめに

第1章 ユカタン半島と養蜂

第II章 先スペイン期・植民地時代の養蜂文化

第 III 章 ラ・モンターニャ地域における伝統養蜂と近代養蜂

第 IV 章 ラ・モンターニャ地域の養蜂文化

終章

参考文献

要約(スペイン語)

♦ Encontros Lusófonos (ISSN: 1346-5058), No.12

講演会

「ブラジリア遷都 50 周年、その建築と社会―首都移転の意義をふりかえる―」

南條洋雄「ブラジリアの都市計画と建築」 奥田若菜「生活都市としてのブラジリア—建築労働者と国内移住者の視点から—」

論文

Everton V. Machado, "Vida, paixão e morte da literatura indo-portuguesa"

吉野朋子「語用論的意味と主文減少 口語ブラジルポルトガル語の否定表現について 」ヤマグチ・アナ・エリーザ「在日ブラジル人家族の移動形態類型についての考察 分散型居住地と集住型居住地の比較研究 」

編集後記

- ◆ 『イベロアメリカ研究』(ISSN: 0388-1237)
 - · <u>第 XXXII 巻第 1 号</u> (2010 年度前期)

講演

カルロス・アルスガライ・トレト「キューバ革命 50 年と対米関係」

論文

Francisco GARCÍA FERNÁNDEZ, Jorge LÓPEZ ARÉVALO, Bruno SOVILLA, "La crisis estructural de la economía cubana en los 90 y 2000: una interpretación heterodoxa"

研究ノート

対方周一郎「ブラジル環境政治研究 「多層ガバナンス・モデル」による体系化の試み 」 福原亮「ボリビアの大衆参加法が農村社会に及ぼす影響 ラパス県アチャカチ市の事例から 」 岸下卓史「ミルパルテンセ概念の多義性に関する実証的研究 先住民性をめぐる葛藤について の一試論 」

書評

水谷裕佳 "Delgado Shorter, David, We Will Dance Our Truth: Yaqui History in Yoeme Performances (Lincoln and London: University of Nebraska, 2009), 373p."

資料

ラテンアメリカ日誌 2009年

研究所ニュース

活動日誌

出版物リスト

編集後記

·第 XXXII 巻第 2 号 (2010 年度後期)

論文

松井謙一郎「中米から米国への労働移動が中米のドル化に及ぼす影響」

村野正景「遺跡の訪問者と遺跡に対する認識 エルサルバドル・タスマル遺跡公園の第一回利 用実態調査より 」

Isami ROMERO "Hacia una reexaminación del papel de México como potencia media: el caso de la Crisis de Guatemala de 1954"

西脇靖洋「ポルトガル・ブラジル関係の歴史と現状 関係発展の経緯と要因 ...

研究ノート

中満和大「コンセプシオンの民衆騒乱(1655年) 先住民族との和解を求めたチリの人々 」 書評

太田理英子 "Fuentes Morúa, Jorge y Telésforo Nava Vázquez (Coords.), *Crisis del Estado: México 2006* (México: Miguel Ángel Porrúa, 2009), 244 p."

山元一洋 "Veloso, Fernando, Samuel Pessôa, Ricardo Henriques, Fabio Giambiagi (eds.), *Educação básica no Brasil: construindo o país do futuro* (Rio de Janeiro: Elsevier, 2009), 282 p."

資料

日本・ラテンアメリカ関係日誌 2009年

研究所ニュース

活動日誌

出版物リスト

編集後記

§ 来訪者

- 4月 1日 Jorge MORA ALFARO(コスタリカ)ラテンアメリカ社会科学大学院コスタリカ学術 支部長
- 10月 26日 Alexander LÓPEZ (コスタリカ)ナショナル大学国際関係学部長
- 11月 25日 Ana Paula LABORINHO (ポルトガル)カモインス院総裁 Paula FERREIRA SANTOS 駐日ポルトガル大使館文化参事官
- 11月 30日 Roberto STEINER (コロンビア)高等教育開発財団理事長

§ 図書室

蔵書数:40,609冊(和書4,421冊、洋書36,188冊)

受入継続雑誌:106点、うち洋雑誌86点 購入図書:288冊(和書50冊、洋書238冊) 受贈図書:131冊(和書40冊、洋書91冊)

§ 人事

♦ 客員研究員

Hugo CÓRDOVA QUERO 小池洋一(任期9月26日~3月31日)

- ◆ 共同研究所員 箕輪茂
- ◆ 準所員

藤井嘉祥、増山久美、村瀬幸代、齋藤亜子、千代勇一

§ その他のラテンアメリカに関する所員業績(ABC順)

HASEGAWA, Nina

幡谷 則子

6月5日	学会報告	「コロンビアにおける生存と和平をめざすローカル・イニシアティブ―鉱物資源ブ
OHOH	子云钡百	
		ーム下の金鉱採掘コミュニティの事例から」。日本ラテンアメリカ学会第 31 回定期
		大会(京都大学にて)分科会報告。
8月1日	評論	「コロンビア独立 200 年 - 豊かさの陰から可視化途上にある民衆」(『ラティーナ』8
		月号) 13-17 ページ。
8月8日	現地調査	コロンビア。コロンビアにおけるグローバル開発と農民組織によるローカルイニシ
~9月3日		アティブに関する調査。(科研費出張)
8月25日	著 書	La ilusión de la participación comunitaria: Lucha y negociación en los barrios
		irregulares de Bogotá 1992-2003, Bogotá, Universidad Externado de Colombia.
10月22日	国際ワークシ	"National Integration vs. Local resistance in the Afro-Colombian communities:
	ョップ報 告	New legal framework and its contradiction in the mining sector", International
		Workshop on "Globalization: Its Lights and Shadow", Tokyo, Sophia University,
		22-23, October, 2010.
11月21日	講義	「コロンビアの鉱山開発と地域住民による抵抗 - 鉱物資源ブーム下の金鉱採掘コ
		ミュニティの事例から‐」、南米連続研究会、於 JICA 地球広場。
2月18日	現地調査	コロンビア。ボゴタ、レティシア(Leticia)、サンヒル(San Gil)にて。アマゾン地域の
~3月2日		生物多様性、資源開発とその保護について。サンタンデール県の農村自給経済
		の自立化支援について。(科研費出張)
3月19日	国際シンポ	京都大学地域研究統合情報センター主催、国際シンポジウム「ポストネオリベラ
~20 日	ジウム司会	ル期ラテンアメリカにおける国家社会関係 ―紛争、格差と民主主義―」京都大学
		稲盛財団記念館 3 階大会議室にて。セッション司会「紛争・紛争後の社会再
3月19日		の自立化支援について。(科研費出張) 京都大学地域研究統合情報センター主催、国際シンポジウム「ポストネオリベラ

子安 昭子

8月22日	現地調査	ブラジル。ブラジリア、サンパウロ。
~9月8日		
9月15日	論 文	「ルラ外交と世界で高まるブラジルのプレゼンス」(『日本貿易会月報』684 号)25
		- 28 ページ。

三田 千代子

6月4日	講義	「ブラジル社会の多様性と統一性」、於早稲田大学。
6月26日	現地調査	静岡県浜松市におけるブラジル人と外国人の政策に関する調査。
~ 28 日		
8月22日	現地調査	ブラジル。ブラジリア、サンパウロ。サンパウロ州モジ・ダス・クルーゼス。
~9月8日		
8月26日	学会報告	"Foreign Workers and their homelands: Case of Japanese Brazilians in Japan" in
~27日		VIII International Congress of Japanese Studies in Brazil , Universidade de
		Brasília.
9月2日	講 演	「変容する日系社会 ブラジルを見つめて 40 年 」サンパウロ人文科学研究
		所。
11月6日	学会報告	「在日ブラジル人のホスト社会とホームランド 在日日系ブラジル人のアンケート
		調査から 」第83回日本社会学会大会。
2月1日	論 文	「デカセギ現象 25 年 - 日本とブラジルの社会変化」(『人権と部落問題』No.811)
		16-28 ページ。
3月5日	コメンテータ	「トランスナショナルな『日系人』の教育・原語・文化 過去から未来に向かって
~6日		」国際交流基金知的助成プログラム、日本移民学会共催。
3月31日	論文	「それはグローバルな旅の結果 ブラジルの栽培作物の変化と日本移民」(『立
		教大学ラテンアメリカ研究所報』No.39) 51-60 ページ。

NEVES, Mauro

8月8日	現地調査	ブラジル。ブラジリア、カンピーナス、ジョアン・ペソーア。
~9月3日		
3月10日	論 文	「現代ブラジル映画の多様化:1995 年以降のブラジル映画」(『上智大学外国語
		学部紀要』第 45 号) 63 - 91 ページ。

大越 翼

大越 冀		
5月26日	論 文	「植民地時代におけるマヤ王家の由緒 その誕生と変容 」、歴史学研究会編
		『由緒の比較史』、青木書店、59-95 ページ。(ISBN: 978-4-250-21012-9)
5月31日	論 文	"La formación de las entidades políticas de las tierras bajas mayas del Posclásico
		tardío: una nueva perspectiva", Aurore Monod Becquelin, Alain Breton y Mario
		Humberto Ruz (eds.) Figuras mayas de la diversidad. Universidad Nacional
		Autónoma de México, Laboratoire D'Ethnologie et de Sociologie Comparative,
		CNRS, Laboratoire D'Arqueologie des Ameriques, CNRS (Mérida, Yucatán,
		2010), pp. 507-536. (ISBN: 978-607-02-1428-8)
8月4日	学会参加	メキシコ合衆国カンペチェ州カルキニ町公文書館、カルキニ教区古文書館、カル
~9月13日	現地調査	キニ市およびヌンキニ村における野外調査。
8月11日	学会報告	"Pueblo y cah, dos discursos en contacto: transformación y continuidad del espacio
		maya", en la Mesa plenaria II "Conflictos armados y proceso de resistencia", dentro
		del VIII Congreso Internacional de Mayistas, en la Universidad Nacional
		Autónoma de México, México D.F.
8月23日	本のプレゼン	著作 Códice de Calkiní (México,UNAM, 2009)のプレゼンテーション。カンペチェ
	テーション	州カルキニ市ヌンキニ村にて。
8月30	集中講義	"Análisis del Códice de Calkiní: fuente inagotable para la historia regional" (6
~31日		horas) en la Facultad de Humanidades, Universidad Autónoma de Campeche.
12月5日	講演録	「16 世紀後半におけるユカタン・マヤ社会の変容について カルキニ村の社会的
		空間を例として―」『REHK Revista de Estudios Hispánicos de Kioto 別冊講演録
		』、京都イスパニア学研究会、16-28 ページ。
3月14日	学会報告	"Grupo cuch- (cuchcabal y cuchteel) en la historia: implicación de su uso y desuso
		en el siglo XVI", en el III Congreso Internacional de Cultura Maya, Mérida,
		Yucatán.
3月15日	学会報告	"Cuchcabal y hobón. Una comparación de estructuras sociopolíticas de hombres y
		abejas", en el Simposio "Tiempos de cera, tiempos de miel. Aspectos culturales de
		las abejas entre los mayas de la península de Yucatán", dentro de marco del III
		Congreso Internacional de Cultura Maya, Mérida, Yucatán. Coautoría con Laura
		Elena Sotelo Santos.

谷 洋之

\Box $+$ \leftarrow		
4月20日~26日	出張	メキシコ。メキシコ市、イベロアメリカ大学。上智大学からの派遣によるイエズス 会高等教育会議出席。
8月5日~27日	出張	メキシコ。メキシコ市、クリアカン市、グアダラハラ市。日本貿易振興機構アジア経済研究所「食料危機と途上国におけるトウモロコシの供給体制」研究会現地調査。
9月7日 ~20日	出張	メキシコ。メキシコ市。私費によるメキシコ独立 200 周年記念行事視察のための出張。
12月25日	論 文	「高付加価値農産物の輸出を梃子に過疎地を甦らせる メキシコにおける温室トマト産業」田中祐二、小池洋一編『地域経済はよみがえるか ラテン・アメリカの産業クラスターに学ぶ』新評論、279-295 頁。
3月17日~27日	出張	メキシコ。グアダラハラ市。上智大学研究推進奨励費資金による出張。 ハリスコ州における蔬菜の生産と流通に関する現地調査。
日付なし	論 文	"From National Symbol to Economic Goods: A Brief History of Maize Consumption in Post-revolutionary Mexico," in Farrer, James (ed.) <i>Globalization, Food and Social Identities in the Asia Pacific Region</i> , Tokyo: Sophia

University, Institute of Comparative Culture, 2010.
(http://icc.fla.sophia.ac.jp/global%20food%20papers/html/tani.html)

TOIDA, Helena H.

3月10日	論 文	「クロニカ(5) 儚さのクロニスタ、セシリア・メイレーレス」(『上智大学外国語学部
		紀要』第 45 号) 45~62 ページ。

YAMAGUCHI, Ana Elisa

8月26日	現地調査	ブラジル・サンパウロ市。帰国支援金を受給したブラジル人家族のブラジルでの
~9月6日		生活戦略および適応に関する調査。

吉川 恵美子

11月19日	現地調査	コロンビア、ボゴタ市。演劇イベント<平和をめざす女性演劇人フェスティバル>に
~ 29 日		おけるラ米女性演劇の実情調査。
11月22日	講演	「日本演劇の女たち」。コロンビア演劇協会主催<平和をめざす女性演劇人フェス
		ティバル>による招待講演。
11月24日	講演	「佐野碩 ラテンアメリカ舞台芸術の流れの中で」。於コロンビア、ロス・アンデス
		大学。
3月27日	年 鑑	「ラテンアメリカ演劇 2010 バルバの 第三演劇 理念」、『THEATRE YEAR-
		BOOK 2011 Theatre Abroad 諸外国の演劇事情』、国際演劇協会(ITI/
		UNESCO) 日本センター、86-93 ページ。

上智大学イベロアメリカ研究所

102-8554 東京都千代田区紀尾井町 7-1 Tel . 03-3238-3530 Fax. 03-3238-3229 E-mail: ibero@sophia.ac.jp